

2024年4月15日

町長室

「真鶴データブック 2023」について

この度、データという根拠に基づいて真鶴町の現状を可視化したいと考え、「真鶴データブック 2023 ～RESAS で見た町のいま～」を制作しました。町内外のみなさまにとって真鶴町に対する理解や関心を深めるきっかけとなることを期待しています。本冊子はホームページにて頒布します。

※RESAS(リーサス)とは『Regional Economy and Society Analyzing System (地域経済分析システム)』の略称で、内閣官房と経済産業省がWeb上で提供するシステムです。

本冊子は真鶴町の職員が制作しました。

外部のコンサルティング会社等に依頼することにより高品質で見映えもよい冊子を作成することは可能です。しかし、今回は職員自らが手を動かすことで得られる知見もあると考え、RESASに関する外部研修を2名の職員が受講し、職員自身の手で制作しました。

また、本冊子の制作を通して様々な気づきがありましたが、特徴的なものは以下の通りです。

①「宿泊者数はコロナ前よりUP」

宿泊者数は増加傾向にあり、コロナ禍で一時期減退したものの、2022年には近年最多の39,820人を記録しました。

②「一経営体あたり漁獲物販売金額は県の平均以下」

データが取れた2008年、2013年、2018年の経営体あたり海面漁獲物等販売金額がいずれも県平均を下回っており、小規模漁業者中心の漁業経営となっていることがわかります。

③「県内最低の経済規模」

2018年の生産額は33市町村中最下位ですが、地域外からの所得流入が多いというデータを見ると真鶴町がベッドタウン化しているといえます。

お問い合わせ先	
町長室長 大塚 伸二	電話：0465-68-1131
(事務担当：石井俊光)	内線 314

